取扱説明書

Bearmax

DVD／CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー

ディ・ブイ・ディ

商品型番：**DVD-721**

お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全のために ---------- 2～3
使用上のご注意 ---------- 4～5
お手入れのしかた ---------- 6
主な仕様 ---------- 6
付属品を確かめる ---------- 7
電源を準備する ---------- 7
接続する① ---------- 8
接続する② ---------- 9
DVDを観る/CDを聴く ---------- 10
ラジオを聴く ---------- 11
テープを聴く ---------- 12
DVD/CDをテープに録音する ---------- 13
ラジオ/内蔵マイクを録音する ---------- 14
マイクを使ってカラオケを歌う ---------- 15
リモコンを使ったその他の操作 ---------- 16～18
リモコンを使うには ---------- 19
故障かな?と思ったら～その① ---------- 20～21
故障かな?と思ったら～その② ---------- 22～23
各部のなまえ ---------- 24～25
初期設定 ---------- 26～27
保証とアフターサービス ---------- 28

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

DVDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにするとともに、水がかかるような場所では使わないこと。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものを入れない
火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないこと。感電の恐れがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

雷が鳴ったら屋外で使わない
落雷のおそれがあります。

点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。そのまま使用すると火災等の原因になります。

乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

⚠ 注意

放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

温度の異常に高い場所で使用しない
また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品が変形する原因になります。

電源コードをコン、セントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない
高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

電池は正しく取り扱う
・＋ーは正しく入れる。
・長時間使用しないときは取り出しておく。

電池は誤った使い方をしない
・加熱、分解したり、水、火の中に入れたりしない。
・ネックレスなどの金属物と一緒にしない。
・乾電池の代用として充電式電池を使わない。
・被覆のはがれた電池は使わない。
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。
・万一液漏れが起こったら、販売店に相談する。
・液が身体についたときは、水でよく洗い流す。
・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
・指定された種類以外の電池は使用しない。

使用上のご注意

本機の概要

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。記録方式によっては再生できない場合もあります。
・DVD（片面/両面）（一層/二層）
・VCD・CD・CDグラフィックス・ラジオ・カセットテープ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクをアダプター無しで再生できます。

DVDビデオ　DVD-R　DVD-RW　CD　ビデオCD　CD-R

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク（Ver1.1）・DVD-Rディスク（Ver2.0）は再生可能です。（ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません。）
※CD-R・CD-RW・DVD-R・DVD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
※CPRMには対応しておりません。
※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号について（地域番号）
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。本機のリージョン番号は「2」です。
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。
●本機で再生できないディスク
・本機のDVDプレーヤーではDVD-ROM・DVD-RAM・DVD+RWは再生できません。
●コピーコントロールCD
・本機のDVDプレーヤーでは音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。
●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機では、CD-R・CD-RW・CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます（記録方式によって再生できない場合があります）。
・ISO9660レベル1・レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・JPEGファイルには".jpg"".JPG"の拡張子がつきます。
●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
・ISO9660レベル1、レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張子フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。
・可変ビットレートには対応していません。
・"mp3"または"MP3"の拡張子がついていないファイルは再生できません（拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類をあらわす文字です）。
●MP4の再生
・MP4とは、ここでは「DivX」などの、MPEG4形式で圧縮された動画ファイルを指します。

DVD・CD-Rに表示されているマークについて

●DVDやCD-Rのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

ドルビーデジタルサウンド　アングル数

●ドルビーデジタルサウンド
DVDの標準音声タイプのことで、モノラルやステレオで記録されているソフトであれば、5.1chサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されていて、サブウーハーから出力される低音も記録されています。本機を5.1chプロセッサーつきAVアンプと接続することにより、臨場感あるマルチチャンネル再生を楽しむことができます。
●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数を表しています。
●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。
マークは、音楽用CDの統一マークです。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。
●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。
【タイトル】
DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
【チャプター】
タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
【トラック】
ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。
ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

本機の取扱いについて

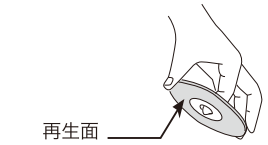
●極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
●窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

●ディスクの取扱いかた
・再生面には手をふれないでください。



<ケースから出すとき>
センターホルダーを押さえ

再生面に触れないように持って取り出します。

<ケースにしまうとき>
印刷面を上にして

上から押さえて入れます。

●ディスクの保管のしかた
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
●本機を持ち運びするときは
・ディスクを必ず取り出してください。
入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上のご注意

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでくだい。ディスクを痛める原因となります。
●再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

●ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

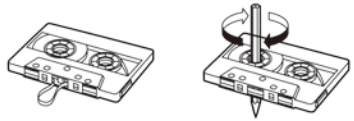
COMPACT disc DIGITAL AUDIO　SINGLE

ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。

●再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
●CD-R/CD-RWに記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
●コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

カセットテープの取り扱いについて

●再生中に音が鈍くなった時は、まれに酸物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
●先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
●テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



●古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので、ご使用にならないでください。
●テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻き戻ししてください。
●テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消す恐れがあります。
●温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。
●60分以上の長時間テープはご使用にならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが機械に巻き込まれる場合があります。
●TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。

<大切な録音を守る-誤消去防止>
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。
穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

お手入れのしかた

※クリーニングの前に必ず本機の電源を切ってください。

●本体

乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。(変色や変質の恐れがあります。)

●DVD/CDプレーヤー・レンズ部のクリーニング

レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、再生ができなくなった場合にクリーニングをしてください。

◎ゴミやほこりがついた場合

市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

◎指紋などがついた場合

ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

※ご注意

・クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。

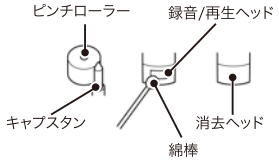
・レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

●カセットレコーダー部のクリーニング

カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド・ピンチローラー・キャプスタン(カセット収納部)をいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できないなどの現象が起こります。さらにテープが絡まり、テープにダメージを与える場合があります。このようなときは、次の手順で清掃してください。

1. 停止/取出ボタンを押してカセットドアを開けます。カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
3. ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

<カセットレコーダー部>



主な仕様

電源:	本体:AC100V 50/60Hz　DC12V(単1乾電池8個使用)
	リモコン:DC3V(単3乾電池2個使用)
消費電力:	23W
実用最大出力:	1.5W+1.5W
受信周波数:	FM;76-108MHz AM;522-1629KHz
周波数特性(-6dB):	CD/DVD;20Hz-20kHz
	カセットテープ;125Hz-8kHz
	ラジオ; FM; 70Hz-5kHz AM;100Hz-3kHz
出力端子:	オーディオ出力端子
	コンポジットビデオ出力端子
	S映像出力端子
	ヘッドホン出力端子
入力端子:	マイクロホン入力端子×2
最大外形寸法　(約):	本体: 幅315X奥260X高165mm
質量(約):	2.8Kg
付属品	リモートコントローラー、リモートコントローラー用単3乾電池×2、電源コード、ビデオ/オーディオケーブル、カンタン説明書、取扱説明書(本誌)

付属品を確かめる

●本機
●リモートコントローラー
●リモートコントローラー用単3乾電池×2本
●ビデオ/オーディオケーブル
●電源コード
●カンタン説明書
●取扱説明書(本誌)

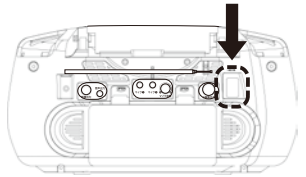
※付属のリモコンはDVD/CD操作専用です。テープ・ラジオの操作にはお使いになれません。
※本機用乾電池は含まれておりません。

電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。
電力消費が大きいため、DVDの再生やカセットテープを録音するとき、また室内でのご使用は、付属の電源コードをお使いください。

●電源コードを接続する

電源コードを本機の【電源コード差込口】へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。
本機への【電源コード差込口】へしっかりと差込み、電源コードを引っ張っても抜けないか、確認してください。



●リモコンに電池を入れる

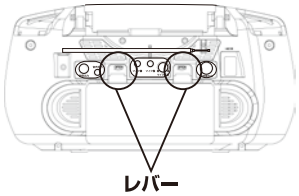
1.電池ケースカバーを矢印の方向へ引き、カバーを外します。
2.単3乾電池2個を、+プラス/ーマイナス表示の通り、マイナス側を先に入れてからプラス側を入れます。
3.電池ケースカバーを元に戻します。

<リモコン裏面>

●本機に乾電池を使う

乾電池をお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。
新品のアルカリ乾電池をご使用ください。

1.本機裏面にある乾電池収納部の蓋を、レバーを押し下げるようにして開けます。
2.単1型乾電池8個(市販品)を、+プラス/ーマイナス表示の通り正しく入れます。
3.電池収納部の蓋を元に戻します。



※本機に充電電池やマンガン電池はご使用になれませんので、ご注意ください。
※ 乾電池を入れたままにすると放電しますので、お使いにならないときや電源コードを使用するときは、必ず外してお使いください。
※ 電池の残量が少なくなると誤作動の原因となります。コンセントがある場　所でのご使用時は、必ず電源コードをお使いください。

接続する①

テレビと接続する

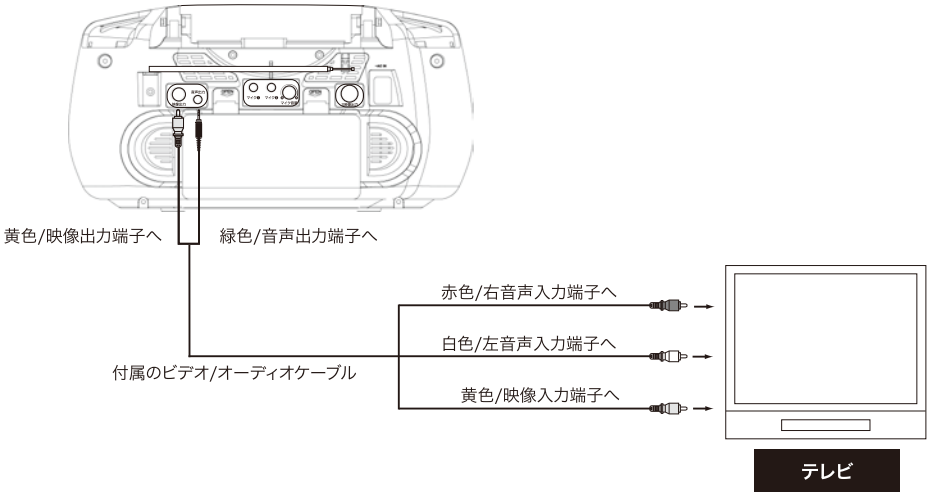
1. 付属のビデオ/オーディオケーブルを本機に接続する
ビデオ/オーディオケーブルの(緑)を本機の音声出力端子に、(黄)を映像出力端子に接続します。

2. ビデオ/オーディオケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子に接続する
ビデオ/オーディオケーブルのもう一方の端の(赤)をテレビの音声（右）入力端子に、(白)を音声（左）入力端子に、(黄)を映像入力端子に接続します。

3. テレビの外部入力を切り換える
テレビのリモコンにある外部入力切換ボタンで、外部入力を切り換えます。接続したテレビの端子に合わせて外部入力を切り換えます。
（例：「ビデオ1」「ビデオ2」など。）

※テレビにS映像入力端子がある場合は、S映像ケーブル（市販品）をご使用になると、より鮮明な画像で見ることができます。
※S映像ケーブルを使用するときは、付属のビデオ/オーディオケーブル(黄)は接続しないでください。

DVD-721VC



接続する②

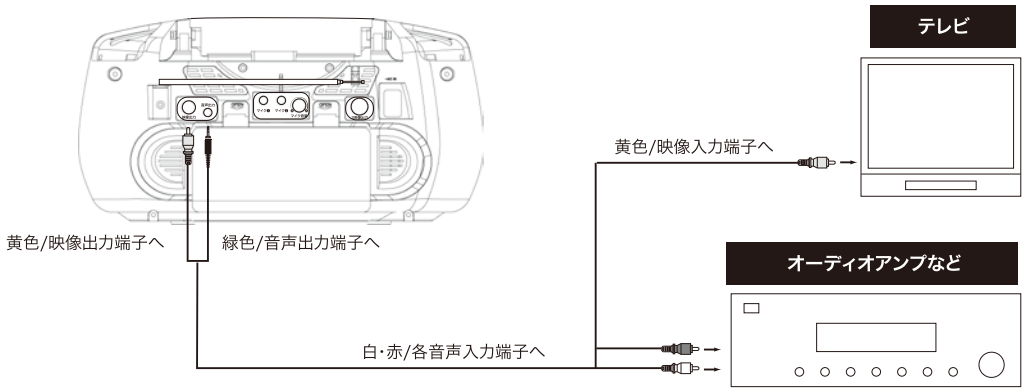
アンプ/スピーカーと接続する

1. 付属のビデオ/オーディオケーブルを本機に接続する
ビデオ/オーディオケーブルの(緑)を本機の音声出力端子に、(黄)を映像出力端子に接続します。

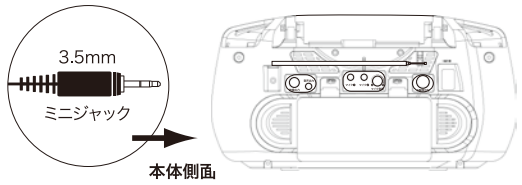
2. ビデオ/オーディオケーブル(赤/白)のもう一方を、アンプの音声入力端子に接続する

3. ビデオ/オーディオケーブル(黄)のもう一方を、テレビの映像入力端子に接続する

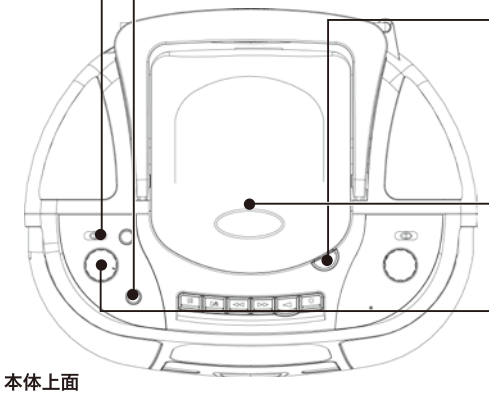
DVD-721VC



ヘッドホンと接続する
お手持ちのヘッドホンやイヤホンを、本機の【ヘッドホン/イヤホン端子】に接続します。



DVDを観る/CDを聴く



本体上面

①【電源】を押して電源を入れる

②【DVD/CD】に合わせる

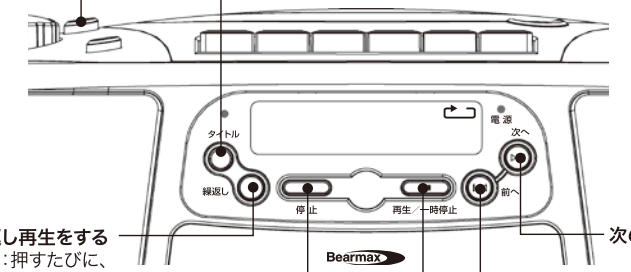
③【ドア開】ボタンを押してDVDドアを開ける
印刷面を上にしてディスクをセットし、ドアを閉じます。

④DVDドアを閉じる
自動的に読み込み、再生を始めます。
表示部の「LOAd」が変わるまでお待ちください。

⑤音量を調節する

※ディスク再生に関するその他の操作は、16～18ページをご参照ください。

その他の基本操作



重低音を切り換える
押すと重低音モードになります。

タイトルメニューを表示する
※タイトルメニューが記録されたディスクのみお使いいただけます。

繰返し再生をする
CDの場合：押すたびに、
1曲（ディスプレイの↻が点滅）
全曲（ディスプレイの↻点灯）
オフ：消灯
に切り換わります。
※設定状態の詳細は接続したテレビ画面でご確認ください。

次の曲へすすむ

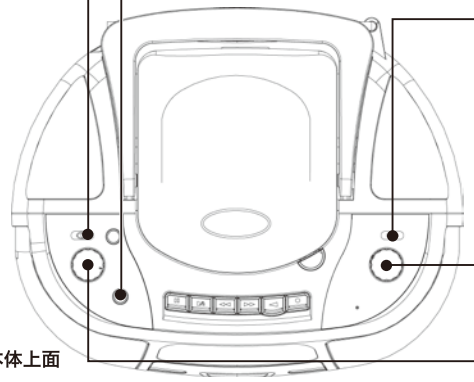
曲の頭に戻る

再生を停止する

再生する
もう一度押すと一時停止します。

・誤った操作やディスクによって禁止されている操作をした時は、テレビ画面に“入力無効”が表示されます。
・ファイナライズ処理されていないDVD-R/RWは再生できません。
・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。

ラジオを聴く

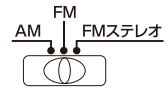


本体上面

①【電源】を押して電源を入れる

②【ラジオ】に合わせる

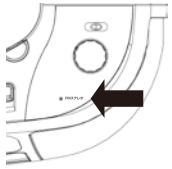
③【FM/AM切換スイッチ】でFMまたはAMを選ぶ



④【ラジオチューニングダイヤル】で聞きたい放送局に合わせる
アンテナや本体を動かして、受信状態の良い方向にあわせます。

⑤音量を調節する

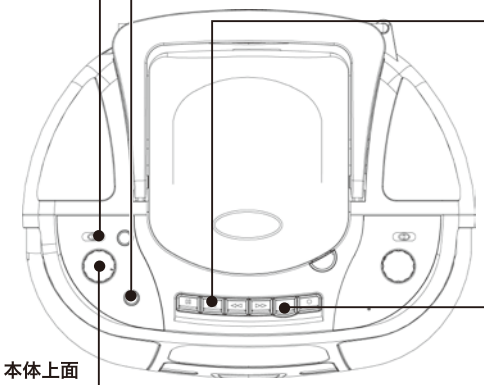
本機はFMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。
AM/TVのステレオ放送はモノラルになります。
ステレオ放送を受信したときに、本機のFMステレオインディケーターが点灯します。



受信状態をよくするには
<FM放送の場合>
背面のロッドアンテナ伸ばし、向きを変えます。

<AM放送の場合>
本体をもっとも受信状態の良い方向へ向けます。

テープを聴く —ノーマルテープ使用

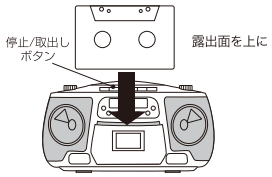


本体上面

①【電源】を押して電源を入れる

②【テープ】に合わせる

③【停止／取出し】を押してカセットドアを開ける
露出面を上にしてをセットし、ドアを閉じます。



③【再生】を押す
＊TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。
クローム／ハイポジション、メタルテープは
使用できません。
＊古いテープは絡まりやすくテープにダメージを
与えますので、ご使用にならないでください。

④音量を調節する

その他の操作

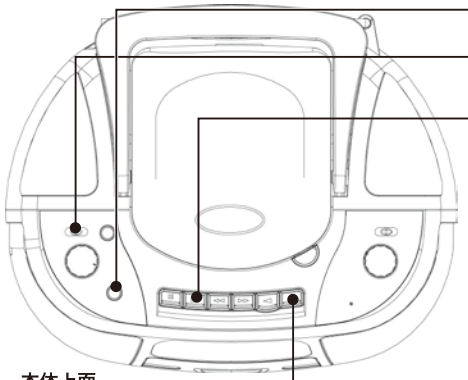
早送りや巻戻しをする
・テープを巻き終えたら、【停止/取出しボタン】を
押して、早送り、巻戻しを解除します。
テープを最後まで巻き取っても自動的にとまりません
のでご注意ください。

一時停止をする
・もう一度押すと
再開します。

テープを取り出す

再生をとめる
・テープを最後まで巻き取ると、
自動的にとまります。

ノーマルテープ使用- DVD/CDをテープに録音する

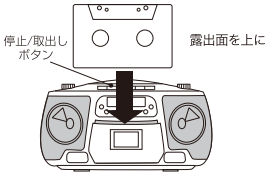


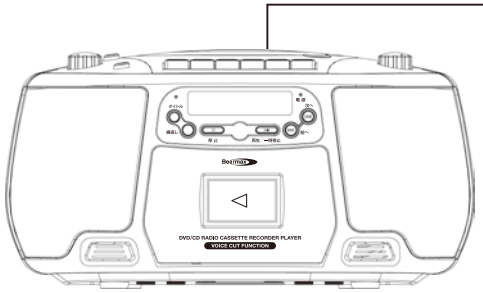
本体上面

①【電源】を押して電源を入れる

②【DVD/CD】に合わせる
ディスクが再生できる状態にします。（10ページ参照。）

③【停止／取出し】を押してカセットドアを開ける
露出面を上にしてカセットテープセットし、ドアを閉じます。





本体前面

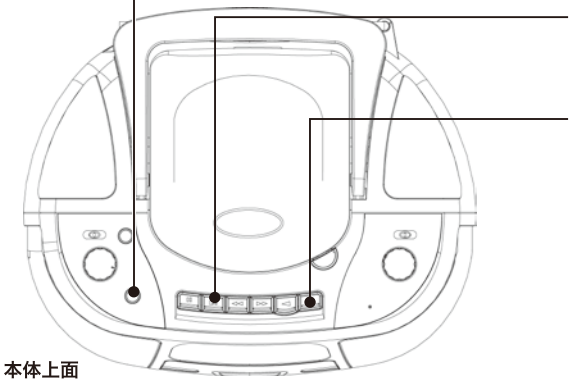
④【録音】を押したあと、
DVD操作部の【再生/一時停止】を押す
テープ操作部の【再生】も同時に押し込まれ
録音を開始します。

＊TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。
クローム/ハイポジション、メタルテープは
使用できません。
＊古いテープは絡まりやすくテープにダメージを
与えますので、ご使用にならないでください。

○録音をとめるには
テープ操作部の【停止/取出し】を押します。

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。
・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
・ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

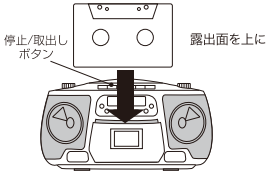
ラジオ/内蔵マイクをテープに録音する —ノーマルテープ使用



本体上面

①【電源】を押して電源を入れる

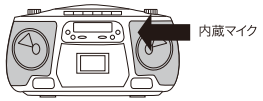
②【停止／取出し】を押してカセットドアを開ける
露出面を上にしてをセットし、ドアを閉じます。



③録音する

●ラジオを録音する
【ラジオ】に合わせて、録音したい放送局を選びます。
（11ページ参照。）
【録音】を押します。

●内蔵マイクを使って録音する
【テープ】に合わせて【録音】を押します。
テープ操作部の【再生】も同時に押し込まれ、
音声録音が始まります。

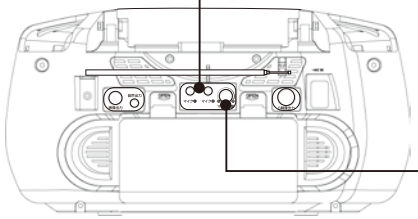


＊TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。
クローム/ハイポジション、メタルテープは
使用できません。
＊古いテープは絡まりやすくテープにダメージを
与えますので、ご使用にならないでください。

○録音をとめるには
テープ操作部の【停止/取出し】を押します。

・録音中音量を変えても録音される音量は変わりません。
・録音するときは、乾電池ではなく、付属の電源コードを使用することをおすすめします。
・TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
・テープのツメが折れていないことを確認してください。
・ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。

マイクを使ってカラオケを歌う



本体裏面

①マイクを接続する
市販のマイクのジャックを本機の【マイク１】もしくは
【マイク２】に差し込みます。
マイク本体の電源を入れます。

②ディスクもしくはテープを再生する
（10・12ページ参照。）

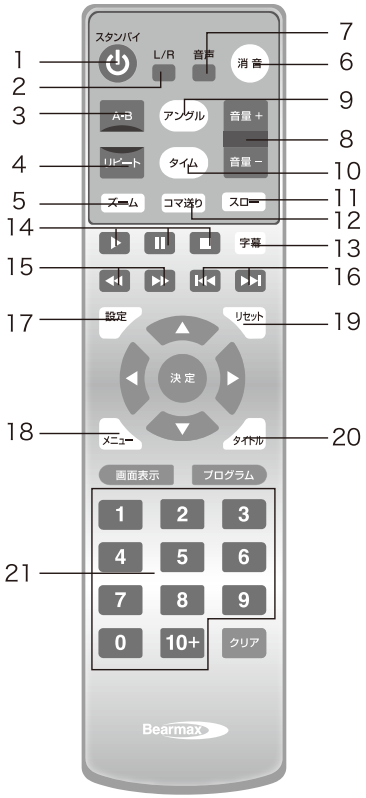
③マイク音量を調節する
本体裏面にある【マイク音量調節ツマミ】で
マイクの音量を調整します。
主音量もあわせて調整します。
マイクはディスク/テープ再生中に
お使いいただけます。

ボーカルあり/なしを切り変えるには

カラオケDVDの場合
リモコンの【音声ボタン】、もしくは【L/Rボタン】で切り換えます。
（ディスクの記録状態によって異なります。）

・キー調整は、[設定]にある[オーディオ設定]の[キー]で調整してください。(26/27ページ)
・キー調節は、DVD/CDのみに対応しています。カセットテープでのカラオケには機能しません。

リモコンを使ったその他の操作　DVD/CD操作専用のリモコンです。



※お使いになるディスクによって画面表示は異なります。
※ディスクの記録状態によって入力無効になる場合があります。

1. 電源
スタンバイモードの入切をします。
本機のリモコンセンサーに向け操作します。
※主電源を切るときは、本体の電源ボタンで電源を切ってください。

2. L/R
左音声・右音声・ステレオの切換をします。
ボタンを押すたびに下図のように切り換ります。

ステレオ → 左側モノ → 右側モノ

3. ABリピート
指定した場面の間を繰り返し再生します。
①リピート再生を始めたい場面でA-Bリピートボタンを押します。
②リピート再生を終了させたい場面でA-Bボタンを押します。
AとBの指定した間を繰り返し再生します。
③A-Bボタンをもう一度押すと、通常の再生に戻ります。

4. リピート
繰り返し再生をします。
リピートボタンを押すたびに、下図のように切り換ります。
接続したテレビに表示されますので、設定状態を確認してください。

DVDの場合

チャプター → タイトル → (リピート) ALL → オフ

CDの場合

(リピート) 1（1曲繰返し） → (リピート) ALL（全曲繰返し） → オフ

音楽ファイルの場合

(リピート) 1（1曲繰返し） → 目次リピート（全フォルダ繰返し） → オフ

5. ズーム
ズーム再生します。
再生中や停止状態でズームボタンを押すと、ズーム再生ができます。
ナビゲーションボタンを使うと拡大画面の移動ができます。
ボタンを押すたびに下図のように画面が切り換ります。
※メニュー画面では機能しません。

ズームX2 → ズームX3 → ズームX4 → ズームX1/2 → ズームX1/3 → ズームX1/4 → ズーム:オフ

6. 消音
消音します。
①再生中に消音ボタンを押すと消音します。
②再度消音ボタンを押すと元に戻ります。

7. 音声切換
音声切換ができます。ボタンを押すと現在の音声が画面に表示され、再度ボタンを押すと音声が切り換ります。

8. 音量
音量調節をします。音量は1～15で調節ができます。
※リモコンの音量が下がっている場合、本機の音を最大にしても音量は大きくなりません。

9. アングル
DVDのアングルを切り換えます。
※複数のアングルで記録されたDVDのみご使用になれます。

10. タイム
移動再生します。

DVDの場合
①タイムボタンを押すと下図が表示されます。
②◀▶ボタンでタイトル/チャプターに移動します。
③移動再生したいタイトル/チャプターの番号を数字ボタンで入力します。
④移動再生したい時/分/秒を入力し、決定ボタンを押します。
⑤設定した時間から再生を始めます。

DVD　タイトル 01 / 09（タイトル）　チャプター 003/031（チャプター）　00:09:52（時間・分・秒）

CDの場合
①タイムボタンを押すと下図が表示されます。
②移動再生したいトラック番号を入力します。
③移動再生したい時/分/秒を入力します。
④決定ボタンを押します。設定した時間から再生を始めます。

CD　トラック 13/13（トラック）　HDCD　X　01:12:32（時間・分・秒）

11. スロー
スロー再生をします。
①ディスク再生中にスローボタンを押すと、下図の順番でスロー再生になります。

スロー送り 1/2 → スロー送り 1/3 → スロー送り 1/4 → スロー送り 1/5 → スロー送り 1/6 → スロー送り 1/7 → 再生

②スロー再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
※CDでは機能しません。

12. コマ送り
静止画再生をします。
①ディスク再生中にコマ送りボタンを押すと、静止画面になります。ボタンを押すたびに静止画をコマ送りします。
②コマ送り再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

13. 字幕切換
字幕切換ができます。ボタンを押すと字幕が切り換わります。

14. 一時停止、再生、停止
A：再生中に一時停止ボタンを押すと一時停止します。
B：再生中に停止ボタンを押すと、仮停止状態になります。（CD再生の場合は停止状態になります。）
C：仮停止状態で停止ボタンを押すと本停止になります。
D：一時停止または仮停止状態で再生ボタンを押すと、一時停止した画面、もしくは仮停止した画面から再生を始めます。

15. 早戻し/早送り
再生中に、早戻しボタンもしくは早送りボタンを押すと、早送りもしくは早戻し再生をします。ボタンを押すたびに下図のように切り換ります。

早送り再生

早送り X2 → 早送り X4 → 早送り X8 → 早送り X20 → 再生

早戻し再生

早戻し X2 → 早戻し X4 → 早戻し X8 → 早戻し X20 → 再生

16. スキップ
スキップ再生します。
再生中にスキップボタンを押すと、前もしくは次のチャプター/トラックにスキップします。

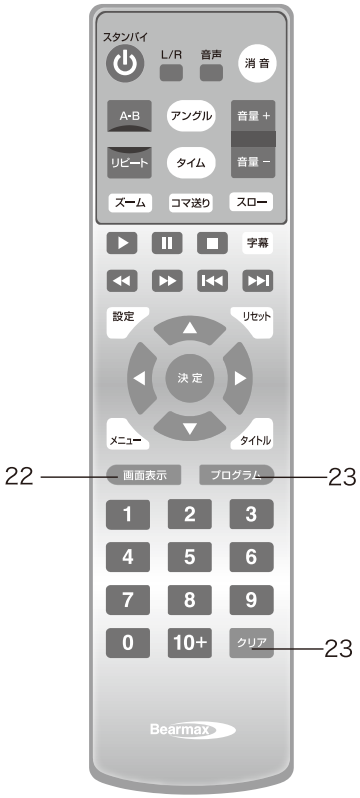
17. 設定
初期設定のメニュー画面に切り換ります。
※詳細は26～27ページ参照。
●暗証番号
工場出荷時の暗証番号は「0000」が設定されています。
パスワードを変更するには
①「0000」を入力し決定ボタンを押してロックを解除します。
②新しい暗証番号（4数字）を入力し決定ボタンを押します。

18. メニュー
メニュー画面を表示します。

19. リセット
工場出荷時の設定に戻ります。

20. タイトル
タイトル画面を表示します。
※タイトルメニューが記録されたディスクのみご使用になれます。

21. 数字ボタン
ディスク再生中に数字をボタン使って、指定したチャプター/トラックの再生ができます。
①10以下の数字は、1から9までの番号をそのまま入力します。
②10以上の番号は、最初に+10を押してから1から9までの数字を入力します。

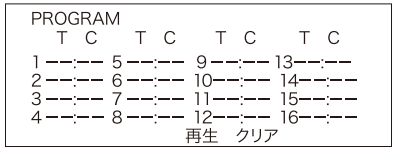


22. 画面表示
現在の設定を表示します。

DVDの場合
①1回押すと、再生中のチャプター/タイトルが表示されます。
②もう1回押すと、字幕/音声/アングルを表示します。
③再度押すたびに、チャプター残時間、タイトル経過時間、タイトル残時間を表示します。

CDの場合
①1回押すと、ディスクの種類/曲番/総曲数/トラック経過時間を表示します。
②再度押すたびに、トラック残時間、アルバム経過時間、アルバム残時間を表示します。

23. プログラム再生/クリア
DVD/CDの再生順序が設定できます。

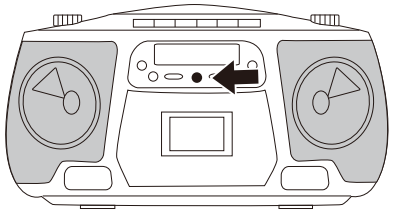


①再生中にプログラムボタンを押します。
上図の画面が表示されます。
②リモコンの数字ボタンで、プログラム再生したいタイトル/チャプター/トラック番号を入力します。
③◀▶▲▼ボタンで次のポジションに移動します。次の番号を入力します。
④入力が終わったら、上図の「再生」まで移動し、決定ボタンを押します。設定した順番で再生を始めます。
⑤リモコンのクリアボタンを押すと、設定したプログラムが削除されます。
最大16タイトル/チャプター/トラックまで設定できます。
⑥停止ボタンを押すと最初の画面に戻ります。

※お使いになるディスクによって画面表示は異なります。
※ディスクの記録状態によって入力無効になる場合があります。

●リモコンに電池を入れる
1.電池ケースカバーを矢印の方向へ引き、カバーを外します。
2.単3乾電池2個を、+プラス/−マイナス表示の通り、マイナス側を先に入れてからプラス側を入れます。
3.電池ケースカバーを元に戻します。

・リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

※ 乾電池は、+プラスと−マイナスの向きを間違えないように正しく入れてください。
※ 乾電池は必ず新しいものをご使用ください。
※ 新しい乾電池と何回か使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
※ 種類の異なる乾電池(メーカーや品番が異なるもの)を混ぜて使用しないでください。
※ 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。
乾電池の注意表示をご確認ください。
※ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出してください。万一、乾電池から液漏れが起こった場合は、電池ケースについた液をよく拭き取り新しい乾電池を入れてください。液漏れ後の放置時間によって内部が故障する恐れがあります。
※ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

故障かな?と思ったら ～ その① よくある疑問編

DVD/CDの再生について

Q　DVD/CDがセットできない。

A　DVD/CDの中心の穴をトレイの中心と合わせて、パチッと音がするまでDVD/CDを押さえてください。

Q　友人から借りたDVDが再生できない。

A　録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生する場合、「ファイナライズ処理」が必要です。
また、DVD-RWの場合は「ビデオモード」で録画されているかご確認ください。

A　DVD-R/RWの場合は、記録の状態によって正常に再生できない場合があります。

Q　DVDを再生していて、音は出ているが映像が映らない。

A　接続しているテレビの外部入力を切り換えてください。

A　ビデオ/オーディオケーブルが正しく接続されてか確認してください。

Q　画像は映るのに、音がでない。

A　リモコンの消音ボタンを押して、消音になっていないか確認してください。

A　本体とリモコンの音量を上げてください。

Q　DVDがスキップ再生できない。

A　チャプター（映像の区切り）に分けられていないDVDは、スキップ再生ができません。

Q　再生ボタンを押しても、“NO”と表示される。

A　ディスクが裏返しになっていないか確認してください。
印刷面を上にしてセットします。

Q　アルカリ乾電池を使ってDVD/CDを再生していると、調子が悪い。

A　DVD/CDの再生は、電池の消耗が激しいため、長時間はご使用になれません。
付属の電源コードをコンセントに差してお使いください。
乾電池の使用時間は、電池の状態や室温によって大きく変動します。

リモコンについて

Q　リモコンの音量ボタンで音が大きくならない。

A　本体の音量ツマミ（主音量）を大きくしてください。

Q　リモコンのボタンを押しても切り換えができない。

A　ボタンを1回押すと、テレビ画面に現状の設定が表示されます。
もう1回押すと設定が切り換ります。設定が表示されている間にボタンを押してください。

Q　リモコンが使えない。

A　乾電池を入れなおしてください。
乾電池のマイナス側を先に入れてから、プラス側を入れます。

A　ディスクによって操作できないボタンがあります。

A　テープ・ラジオでは使えません。
DVD／CD専用のリモコンです。

カセットテープについて

Q　カセットテープの録音ボタンが押せない。

A　テープのツメが折れていると録音はできません。

A　早送りをして少しテープを進めてから録音ボタンを再度押してください。

カラオケについて

Q　カラオケのマイクが使えない。

A　マイク音量ツマミでマイク音量を大きくしてください。
主音量も大きくしてください。

A　マイクのコードが断線・ショートしていないか確認してください。

A　マイクの電源スイッチをON（上）にしてください。

FMステレオについて

Q　FMステレオのランプが点灯しない。

A　FMラジオのステレオ放送受信時のみ点灯します。
AMラジオ・テープ・DVD/CD再生時には点灯しません。

A　受信感度が良くなるように、アンテナを伸ばしてください。

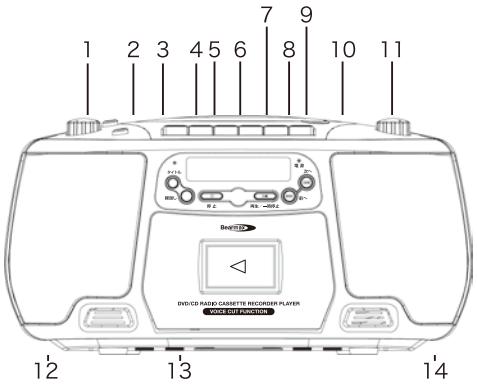
故障かな?と思ったら ～ その②

輸入・総発売にご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
共通	
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・本機の電源コード差込口に電源コードを奥までしっかりと差込んでください、 ・乾電池が正しく入っているか確認してください。 ・乾電池が消耗していたら新しい乾電池と交換してください。 ・充電電池はご使用になれません。 ・本体の主電源が“入”になっているか確認してください。
音が聞こえない	・リモコンの音量が下がっていると、主音量を上げても大きくなりません。一度本機の電源を切って、入れ直してください。 ・消音になっていないか確認してください。
音がひずむ	・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD/CD部	
ディスクの再生が始まらない 本機に“NO dISC” “OPEN”が表示される	・ディスクが裏返しになっている →文字のある面を上にしてください。 ・本機の切換スイッチを“DVD/CD”に合わせてください。 ・カチッと音がするように、正しくディスクトレイにディスクをセットしてください。(ディスクを軽く手で回転させ、水平に回転するか確認してください。) ・DVDドアがしっかりと閉まっているか確認してください。 ・DVDの再生ボタンを押してくださださい。 ・DVDレンズに露(水滴)がついている。 →ディスクを取り出し、DVDドアを開けて1時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理(録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないDVD-R/RWは再生できません。 ・DVD-R/RWは、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。
ディスクの映像や音が出ない	・付属のオーディオケーブル(赤・白・黄)がテレビと正しく接続されているか確認してください。 ・テレビの入力切換が外部入力になっているか確認してください。
ディスクの映像や音が飛ぶ 正常な動作や表示ができない	・安定した場所に置いてください。 ・ディスクが汚れている →ディスクを清掃してください。
リモコン	
操作ができない	・リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。

症　状	対処方法
カセットテープ部	
テープが入らない	・テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。 ・テープの弛みを直してからご使用ください。 ・古いテープは絡まりやすくテープにダメージを与えますので、ご使用にならないでください。 ・60分以上のテープはご使用にならないでください。
早送り・巻き戻しが遅い/回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 ・新しいテープと交換してください。
録音状態にならない	・カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 ・誤消去防止用ツメが折れている →ツメの付いているテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ・無理に録音ボタンを押すと破損のおそれがあります。
前に録音されている音が完全に消えない	・TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
ラジオ部	
雑音が入る	・周波数を正しく合わせてください。 ・アンテナの向きを調節してください。 ・本機の向きを調節してください。
マイク部	
マイクの音が出ない	・マイクケーブルと本機のマイク入力端子を正しく接続してください。 ・マイク本体のスイッチをオンにしてください。 ・本体裏面にあるマイク音量調節ツマミと上面の音量ツマミで、音量を調節してください。 ・マイクはディスク/カセットテープ再生中にお使いいただけます。
カラオケDVDのボーカルが消えない	・ディスクの種類によって“ボーカルなし”に切り換えられない場合があります。

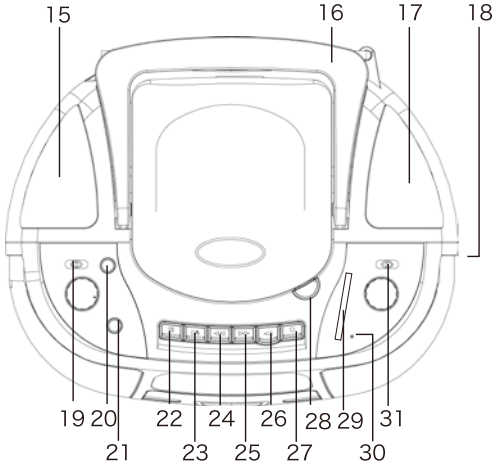
前面



1. 主音量調節ツマミ
2. DVD/CD　繰返し再生
3. DVD/CD　タイトルメニュー表示
4. ディスプレイ
5. DVD/CD　停止
6. リモコンセンサー
7. DVD/CD　再生/一時停止
8. DVD/CD　前スキップ再生
9. DVD/CD　次スキップ再生
10. 内蔵マイク
11. ラジオ選局ツマミ
12. 左スピーカー
13. カセットテープドア
14. 右スピーカー

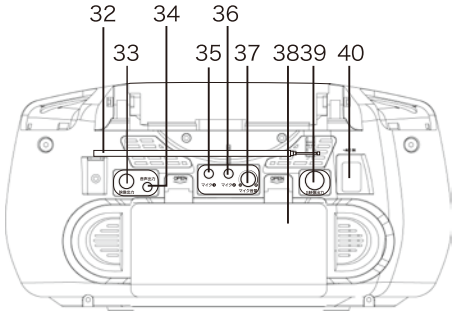
上面

15. 上左スピーカー
16. ハンドル
17. 上右スピーカー
18. ヘッドホン出力端子
19. モード切換スイッチ
20. 重低音入/切
21. 主電源入/切
22. カセットテープ一時停止
23. カセットテープ停止/取出し
24. カセットテープ早送り
25. カセットテープ巻戻し
26. カセットテープ再生
27. カセットテープ録音
28. ディスクドア開ボタン
29. ラジオ周波数表示
30. FMステレオインディケーター
31. AM/FM/FMステレオ切換スイッチ



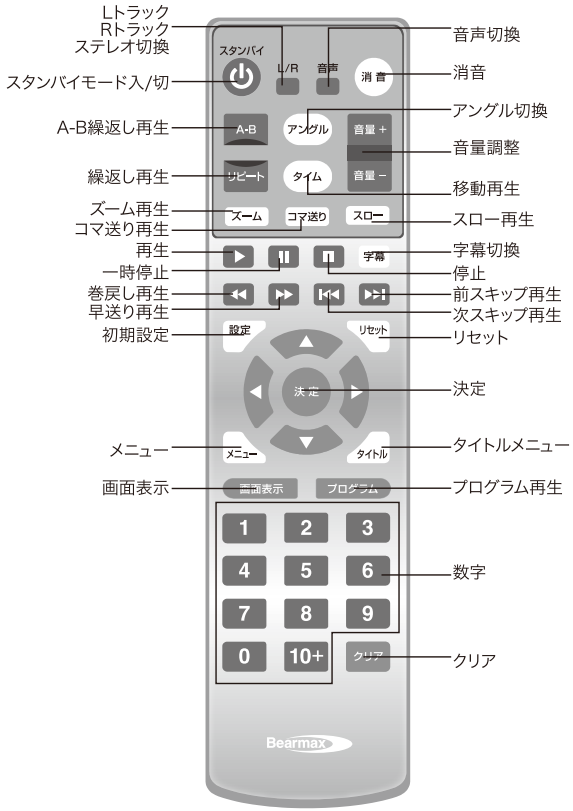
背面

32. FMアンテナ
33. 映像出力端子
34. 音声出力端子（コンポジット信号）
35. マイク1音声入力端子
36. マイク2音声入力端子
37. マイク音量調整ツマミ
38. 乾電池収納部
39. S映像出力端子
40. 電源コード入力端子



フルリモコン

DVD/CD操作用リモコンです。本機のリモコン受光部に向けて操作してください。



初期設定

DVD/CDモード中、ディスクが停止している状態でリモコンの【設定ボタン】を押すと、初期設定画面が表示されます。
【◀▶ボタン】でトップメニューを選択します。
【◀▶▲▼ボタン】でメニューを選択し【決定ボタン】を押すと確定します。
【設定ボタン】を押すと、元の状態に戻ります。

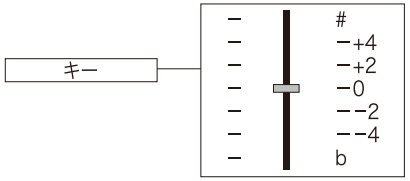
【 システム設定 】

- テレビシステム
  - NTSC
- スクリーンセーバー
  - オン （通常モード）
  - オフ （オフ）
- テレビタイプ
  - 4:3PS
  - 4:3LB
  - 16:9
- 暗証番号
  - ----
- レーティング
  - 1 KID SAFE
  - 2 G
  - 3 PG
  - 4 PG13
  - 5 PG-R
  - 6 R
  - 7 NC-17
  - 8 ADULT
- デフォルト
  - 復元 （出荷時に戻る）

【 言語設定 】

- 画面表示言語
  - 英語
  - 日本語
- オーディオ
  - 中国語
  - 英語
  - 日本語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - ラテン語
  - ドイツ語
- 字幕言語
  - 中国語
  - 英語
  - 日語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - ラテン語
  - ドイツ語
  - オフ
- メニュー言語
  - 中国語
  - 英語
  - 日本語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - ラテン語
  - ドイツ語

【 オーディオ設定 】



保証とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	DVD／CDラジオカセットレコーダー／プレーヤー　DVD-721
保証期間	お買い上げ日から1年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
・正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。
※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に保管してください。
※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17

TEL　：045-401-7486
FAX　：045-435-0057
E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

200910